

# 図書だより

令和7(2025)年度12月号  
天草高校倉岳校図書館



冬になりましたが、ここ数日暖かかったですね。2学期は行事もたくさんでした！皆さんにとって、この2025年、令和7年はどんな年でしたか？新年は午年(うまどし)です。「馬」は、活力・行動力・前進・成功などを想起させて縁起がよく、昔から私たち人間の暮らしを支え、様々なものをもたらしてきました。新年が皆さんにとっても、飛躍する年になることを願っています。体調を整えながら、充実した冬休みになりますように。本の力を借りて、未知の扉を開き、心をほぐしましょう！

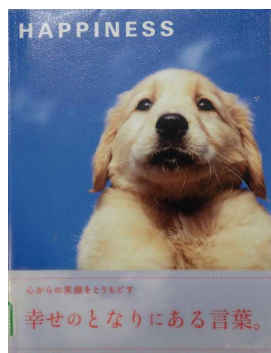
## 秋桜祭で文化図書委員が紹介した本を、 いま一度紹介します！



成瀬という女の子を主人公に展開していく物語です。「膳所」(ぜぜ)という日本に実際ある場所をメインに話が動いているので、読み始めたら終わりまで読みたくなる本です。一話で完結、という流れになっていて普段あまり本を読まない人という人も読みやすいので、ぜひ読んでみてください。

1年 山口

○続編『成瀬は信じた道をいく』もあります。



こちらどうぞ！

いろいろな動物たちのショットに、詩人や哲学者、ダンサーや発明家他の言葉が添えられて、やさしく、強く、力をもらいます。



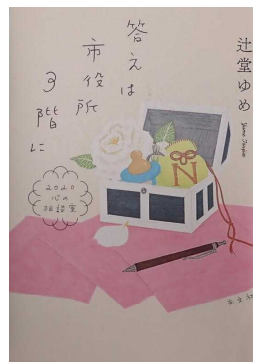
主人公は憧れの先輩女子にアルバイトを頼まれ、田舎の大家族の前で婚約者のふりをするようになった。その夜、彼は謎のメールを受け取り、数字の解読を頑張るが、翌朝、インターネット上の仮想世界の暴走によって世界が変わる。主人公が、一家とともに世界の危機に立ち向かう物語です。

2年 末松



この本は短い話を集めたもので、その一つの「ジョゼと虎と魚たち」。これは、ある2人の物語で、ある出来事をきっかけに、管理人となるお話です。映画にもなった作品です。ぜひ、手に取って読んでみてください。

1年 中本



『答えは市役所3階に 2020心の相談室』コロナ禍で悩みを抱える人々が、市役所の「こころの相談室」を訪れる物語。様々な相談者の秘密や悩みを、2人のカウンセラーが解き明かす、心温まるミステリー小説。



ほんの少しの気配りで、あなたの気持ち、うまく伝わる！ネコ・ウサギコンビが、60のポイントをわかりやすく紹介。

先日、1・2年生は五木分校に行き、フィールドワークをしました。事例紹介やワークシートも付いていて、生かせる。

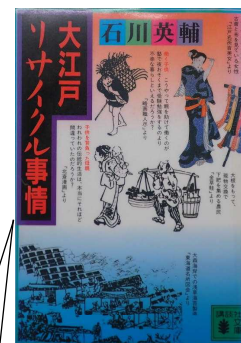


皆いろいろあるけれど、「家族」の日々は続いてゆく。そんな一家の日常をユーモラスに、温かな眼差しでつづった物語。

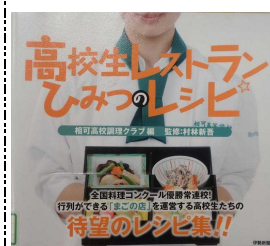
百人一首の各作者がよくわかります！歌の解説もあり。



今年の大河ドラマ「べらぼう」も放送終わりましたねー。楽しみに見ていました。この本には、現代では忘れられてしまった江戸時代庶民の、合理的で無駄のない暮らしの知恵が紹介されています！当時の様子が描かれた人物図なども豊富です。



『大江戸リサイクル事情』

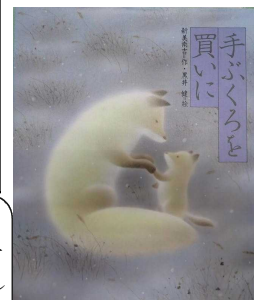


高校生が切り盛りする三重県にある和食レストラン「まごの店」。そのメニューの写真とレシピがたくさん。高校生たちの集合写真や手元の写真、日常の様子や声。少ない材料でできるメニューや「おいしい一番だし」の作り方も！



今日はクリスマス・イブ。サンタさんはどんな奇跡を運んでくれたのでしょうか？

『手ぶくろを買いに』きつねの親子のお話。温かく美しい絵。人間も出てきますが、母ぎつねの言葉に少し考えさせられました。



○さて、冬休みは何冊読みましょうか。今借りると、返却期限は冬休み明けでじっくり読めますね。

休み中も、27日(土)～1月4日(日)以外で係(北野)がいる時には開館します。手に取ってみてください。なお、3学期の新しい試みを、委員会で考えています！

「読書ほど安い娯楽も、長続きする喜びもない。」

メアリー・ウォートリー・モンタギュー(イギリスの著述家)

